



様変わりする「地蔵祭」

八月二十四日、地蔵さんを持つ各常会で、伝統の「地蔵祭」が行われました。

地蔵祭りは、親より先になくなった子供が賽の河原で苦しんでいるのを地蔵菩薩が救うという仏教説話に基づいて、子供たちが辻々に建てられた地蔵尊の前に詣り、その加護を祈る行事として江戸時代から伝えられてきました。

灯を奉納する風習が全国各地に残っています。頼成でも川原の

子供の健やかな成長を祈願することが地蔵祭の大切な目的なので、子供が生まれるとその子の名前を書いた幟や提書いた幟や提



坂東 集まった子供

達に供養の菓子や手料理などを振る舞ったり、地域の子供達が一



地蔵堂前には、子供の

名前を書いた幟が何本も立てられています。(写真右下)



北明

達に向けたイベントを

行ったりします。

戦前から戦後の一時期まで、地蔵祭は正月の左義長、田祭りの夜高行灯とともに、子供たちが中心となって活動する行事でしたが、今では子供が少なくなつたうえ、世話役の大人たちの都合で、もともとは二十二日から三日間にわたって行われていた行事を、二十四日一日で終えてしまふところが多くなりました。

地域の歴史と信仰の遺産として、大人達の手で地蔵堂を護持することはもちろん大切なことですが、「子供の加護を祈願する子供が主役の行事」という地蔵祭本来の姿が継承されることを期待したいものです。

秋の交通安全運動

二十一日から十日間



今回の重点の中には、高齢者の運動・運転能力等の理解に基づき安全行動と保護活動を徹底するためとして、次のような重点が掲げられています。

- ア** 高齢者自身が自分の身体機能の変化を的確に認識して安全な行動を取るよう努めること。
 - イ** 特に街頭での高齢歩行者・電動車いす利用者・高齢自転車利用者に対する交通安全指導、保護・誘導活動を徹底する。
 - ウ** 高齢運転者標識（高齢者マーク）を必ず着用すること。改正道路交通法の施行により七十五歳以上の高齢者マーク表示が義務化され、違反した場合罰則があること。
- また、参加・体験・実践型の交通安全教育等の機会を設けられるので、それらに積極的に参加し、交通ルール・マナーの理解向上と安全行動を実践すること。
- 道路交通法が目まぐるしく改正されています

す。事故を未然に防ぐと共に、法規違反で無駄金を払わないようにするため、般老連・高齢者学級でも、今月十八日に、交通安全についての研修の機会を設けます。ぜひご参加下さい。

七十歳以上の免許更新には

高齢者講習の受講が義務

免許証の更新期間が満了する日（誕生日の1ヶ月後）に、満七十歳以上の人は、県公安委員会の認定する「高齢者講習」を受講しないと、免許証の更新手続きが出来ません。更新期間が満了する前六ヶ月以内に指定実施施設（一番近いところは太田のアクロス中央自動車学校）で必ず受講しておきましょう。所要時間約三時間、手数料六、一五〇円。予約が必要です。

いかるぎ 鳩本

ピーポーピーポーのサイレンを聞いたびに、今度は何処だろう、いずれば自分もなどと思うこの頃ですが、昨年末の市議会でも福島洋一議員（権正寺）が、庄東地区の救急体制について、詳細なデータIを挙げて質問し、消防車、救急車の配備される庄東出張所の早期着工の必要性を強く求めておられました。

質問の中で福島議員は、現在の救急体制では、砺波消防本部からの緊急出動で、般若自治振興会館まで約十分、東般若振興会館まで約十二分、梅檀野振興会館、梅檀山振興会館まで十五分の所要時間がかかり、日本全国の平均到着時間六、五分、砺波広域圏全体の平均七、四分と比較し、庄東地域の住民が人命尊重の観点からきわめて不利な環境におかれていると主張しておられます。

この質問に対し安全市長もその必要性を認識し、庄東出張所を二十年着工、二十一年完成を目処に努力したいと答弁しておられます。

福島議員によれば、ここに救急車が配備され、到着時間が三分から五分程度になると、七十%から五十%の確率で救命率の向上を見ることができるとのこと、市内でも高齢化の特に著しい庄東地区にとつては、一刻も早い完工・運用開始が望まれるところです。

炎天下に汗流して



光寿会では八月二日かかるぎ館、八月三日般若改善センターの清掃奉仕を行いました。両日とも朝から暑く、日中は三十五度近い猛暑となりましたが、役員一同汗にまみれて奉仕しました。



先月二十日には、いかるぎ館の玄関屋根ペンキが近年さび始めたため、自治会委員の方々が「炎天下の中「さび止めとペンキ塗り」をされました。屋根の上は直にさわる」とヤケドしそうだったとの事。



とわず、地域の環境美化保全のために汗を流されている皆様により感謝したいものです。また、同日、頼成自治会委員によるアクアセンターの清掃作業や林道頼成線（芹谷いかはまの湯の奥）の踏査も実施されました。空き缶・たばこのポイ捨て等は見られません



でしたが、入り口が背丈の高い雑草に覆われていたため草刈りが行われました。自治会委員の皆様には、早朝からずっと働きずくめ。まことにお疲れさまでした。
(なお、いかるぎ館ペンキ塗りなど自治会活動の写真と記事は、インターネットの頼成自治会HPより転載させていただきました)

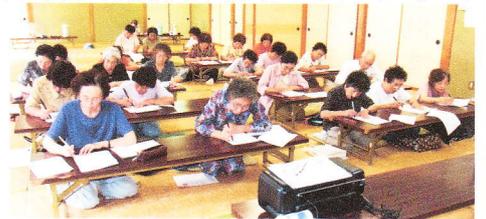
予告案内

☆ 九月二十四日(水曜日)
光寿会ペタンク大会
☆ 十月十四日(火) 十五日(水)
秋の一泊旅行郡上八幡方面
宿泊場所検討中



らんじょ浮世亭だより

8月のらんじょ浮世亭は、いつもの定番メニューのほか、藤山寛美の爆笑喜劇を大画面ビデオで楽しみました。



今回は真夏にふし演し物を観ました。少し滑稽な幽霊の演技が絶妙で終始笑いの渦でした。また午後書写・朗誦の集いでは「正信偈」73行目から84行目、曇鸞上人の教えの部分を書写・朗誦しました。この12行の部分には、病に倒れた曇鸞師が、大事を成し遂げるために長寿を得たいと思ひ仙術を焼くに頼ろうとしたのを、流支という高僧に諭され、せっかく手に入れた仙經を焼いて浄土の教えに帰依し、自ら往還二種回向(おうげん にしゅ えこう)という教義を開かれたということが記されています。当日はお盆がらみで常連の方々が数人お休みになったため、例月よりは少しさびしい集いになりました。

次回は9月17日(水曜日)です

10時ころより、年寄りをねらう悪徳商法についてのビデオ「アレ?、もしかして」と、長老方において含蓄のあるお話を聞く、などを予定しております。月に一度の気楽な出会いの場へ、お茶呑みがてらぜひご来亭ください。

www1.tst.ne.jp/ranjo/

頼成自治会ホームページのアクセス数が増え、八月二十二日現在で、平成十五年四月の開設以来、五年四ヶ月で一万三千件を超えました。ページ「いいとこやちやらんじょ」のアクセス数が、八月二十二日現在で、一万三千件を超えました。頼成の様々な情報が世界に向けて発信されています。このホームページへは、上記のアドレスまたは検索「頼成自治会」でアクセス出来ます。パソコンをお持ちのご家庭ではご家族揃ってご覧頂き、身近な地域への関心を深めて頂ければと思います。

9月行事予定

- ★ 1日 定例役員会
- ★ 15日 敬老会
- ★ 17日 らんじょ浮世亭
- ★ 18日 般老連高齢者学級
- ★ 24日 光寿会ペタンク大会

一万三千件を超えました

頼成自治会ホームページのアクセス数

ページ「いいとこやちやらんじょ」のアクセス数が、八月二十二日現在で、平成十五年四月の開設以来、五年四ヶ月で一万三千件を超えました。頼成の様々な情報が世界に向けて発信されています。このホームページへは、上記のアドレスまたは検索「頼成自治会」でアクセス出来ます。パソコンをお持ちのご家庭ではご家族揃ってご覧頂き、身近な地域への関心を深めて頂ければと思います。

季節のうた
短命の一日のいのちありがたく
友誘い合うせみしぐれ 林 孝一



ペタンク大会開く
般若地区体育振興会が主催する第一回ペタンク大会が、八月三日庄東小学校で開かれました。頼成からは頼友会・一四会・光寿会の混成四チームが参加しました。
当会からは林久子さん(川原)、島照子さん(公文名)、開田道雄さん(西川原)、八田茂興さん(北明)らが出場、林久子さん、八田茂興さんの所属するチームが優勝しました。